

# 平成28年度 新発田市音楽部 活動報告

部長 大木 敦子

1 研究主題 「思いをもって いきいきと 表現する子」

## 2 研究の概要

4月 活動計画の立案・決定

6月 講習会

・講師 新潟市立小須戸小学校 教諭 村山 香織 様

11月 授業研修

・授業者 佐々木小学校 教諭 木戸 さくら

・指導者 新潟市立小須戸小学校 教諭 村山 香織 様

## 3 研究の実際

(1) 講習会「音楽づくり」について

- ① 新潟市教研音楽部の取組紹介 ～亀田東小3学年「ラドレの音で旋律づくり」の実践～
- ② 音楽科におけるアクティブ・ラーニングの指導技法
- ③ 新潟市の授業づくり ～「学習課題とまとめ・振り返り」のある授業 三つのフレームワーク～

(2) 授業研修 2年「はくをかんじて リズムをうとう」

- ① 協議の視点 ・「佐々木甚句」をモデルとしたリズムの繰り返しの捉え
- ② 指導 ・「佐々木甚句」を2つのリズムの繰り返しとして使うのなら、本時のモデルとなる。
  - ・授業者が「どんな音楽をつくったらよいか」というゴールイメージを明確にもつ。
  - ・リズムのモデル提示により、どこをどう変えたらよいかの見通しをもたせる。
  - ・「佐々木甚句のリズムは何回使われていますか。」等、子どもに問題意識をもたせる発問の工夫をする。

## 4 成果と課題

(1) 成果

- 講習会では、豊富な資料をもとに音楽づくりの学習課題・指導方法・評価方法について実践の紹介を交えた具体的な指導をいただき、主体的に表現活動させるための方策の理解が深まった。
- 授業研究では、2拍子の拍に合わせリズムカードを組み合わせて即興的に演奏する音楽づくりの学習活動が提案された。一人一人に操作しやすいリズムカードが準備され、子どもたちの創作意欲や発想をスムーズに表現活動につなげることができた。指導者の先生からは協議の視点についての的確なご指導をいただき、子どもが意欲的に音楽づくりに取り組むためのモデル提示の仕方等、具体的な指導方法をご教授いただいた。

(2) 課題

授業研究…音楽づくりで表現させる場面の様子を共有化するとともに、子どもが授業者と同じゴールイメージをもてるように支援の仕方を工夫する。